

番号	8 - 共1	申請者	循環器内科部長 外牧 潤
<p>【審査申請課題】 【共同研究】 日本型の医療実態に応じた心原性ショックの治療法および循環器集中治療施設への病院間転院搬送モデルの確立</p>			
<p>【審査課題の概要】</p> <p>心原性ショックとは循環器救急疾患において多臓器不全へと至りうる最重症な症候です。循環器疾患の重症患者管理は飛躍的な進歩を遂げているものの、心原性ショックの予後は依然として世界的に悪く、本邦の報告でも30%以上の30日死亡率であると報告されています。心原性ショックの治療には薬剤や機械的循環補助という心肺装置を使用するなど専門性が高く、世界的に循環器集中治療のエビデンス構築や治療法の標準化が急速に進められています。循環器領域において重症患者を専門とする集中治療医数は不足しており、特に地方では病院間で連携を取り合っていない重症患者を安全に転院搬送するかが課題となっています。日本において重症患者の病院間搬送の有効性や安全性を評価した研究は皆無です。本研究の目的は、循環器集中治療の標準化に向けて熊本県全域の集中治療室を持つ病院群で心原性ショック前向きレジストリを作成し、①心原性ショックのエビデンスを創出するとともに近年の課題である②重症患者集約化の有効性を検証することです。これらの知見が明らかとなれば、熊本の循環救急体制の改善が期待されます。</p>			
審査結果	承認 ( 令和8年7月1日 )		